

給与支払報告に係る給与所得者異動届出書
特別徴収

御注意

4 3 2 1

普通徴収記入例

又はペンで記載してください。
「者指定番号」「宛名番号」の欄には、特別徴収税額通知書に記載された番号を記載してください。
「所得者」の欄の「個人番号」は、前勤務先で引き続き特別徴収を行う場合には、前勤務先で本人から番号の提供を受け記載してください。
「下段の事項を記載し、一月一日現在の住所(課税地)」の欄の「個人番号」は、前勤務先へ送付願います。
「月三十日までの間に退職した人に未徴収税額がある場合には、一括徴収することが義務づけられています。」

年度		1. 現年度 2. 新年度 3. 両年度	
特別徴収義務者番号	80000000		
宛名番号	3		
担連絡者先	所属	人事課人事労務係	
	氏名	特徴 花子	
電話	000 - 000 - 0000		内線 (9999)
	←個人番号の記載に当たっては左端を空欄とし右詰めで記載		
所在地	〒 012-3456 〇〇県××市△△1-2-3		
フリガナ	カフシキガイシャ マルバツショウジ		
氏名又は名称	株式会社 ○×商事		
個人番号又は法人番号	1	2	3
個人番号又は法人番号	4	5	6
個人番号又は法人番号	7	8	9
個人番号又は法人番号	0	1	2
個人番号又は法人番号	3	4	5
フリガナ	アゲオ イチロウ		
氏名	上尾 一郎		
生年月日	昭和〇〇年 〇月 〇〇日		
個人番号	9	8	7
個人番号	6	5	4
個人番号	3	2	1
個人番号	0	0	0
受給者番号	123456		
1月1日現在の住所	〇〇県××市△△3-2-1		
異動後の住所	〇〇県××市□□6-5-4		
(ア) 特別徴収税額 (年税額)	145.000	円	
(イ) 徴収済額	49.000	円	
(ウ) 未徴収税額 (ア)-(イ)	96.000	円	
異動年月日	9	月	30
異動の事由	1 退職 2 退職 3 退職 4 死 5 死 6 死 7 死 理由		
異動後の未徴収税額の徴収方法	3 1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 3. 普通徴収 (本人納付)		

1. 特別徴収継続の場合

新しい勤務先へは、月割額 _____ 円を _____ 月分 (翌月10日納入期限分) から徴収し、納入するよう連絡済みです。

受給者番号 _____

納入書の要否 (新規の場合のみ記載) 右から番号を記入 1. 必要 2. 不要

2. 一括徴収の場合

左記の一括徴収した税額は、 _____ 月分 (翌月10日納入期限分) で納入します。

理由 1. 異動が令和 年12月31日までで、一括徴収の申出があったため
2. 異動が令和 年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため

3. 普通徴収の場合

理由 1. 異動が令和 年12月31日までで、一括徴収の申出がないため
2. 令和 年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額 (ウ) 以下であるため
3. 死亡による退職であるため

9月末で退職した給与所得者の徴収方法を、10月分から普通徴収に変更する場合。
(ア) 特別徴収税額 (年税額) 145,000円 (6月から翌年5月分)
(イ) 徴収済額 49,000円 (6月から9月分)
(ウ) 未徴収税額 96,000円 (10月から翌年5月分)
↑
普通徴収税額

【提出先】 〒362-8501 上尾市本町三丁目1番1号 上尾市役所 行政経営部市民税課 住民税特別徴収担当